

地域連携支援プログラム

報告書

令和 2～3 年度

(2020～2021 年度)

東海学園大学

地域連携支援プログラム報告書（令和2～3年度）
目次

令和元年度実践プロジェクトから

- 【経営学部 9】「学生ラジオ番組「ゆるゆるたいむ♪」の企画・制作」(P1)
- 【経営学部 13】「みよし市SDGs推進プロジェクト」(P3)
- 【人文学部 3】「HUG（避難所運営ゲーム）」ファシリテーター」(P5)
- 【教育学部 1】「天白図書館テーマソングの振り付け創作の取り組み」(P7)

地域連携支援プログラム全活動概要一覧 (P9)

【 】内の数字はP10～○全活動概要一覧の各単位の表番号を示す

学生ラジオ番組「ゆるゆるたいむ♪」の企画・制作

1. 目的・概要

たとえば英語学習における語学力とコミュニケーション力がまったく異なる二つのスキルであることからわかるように、仕事や日常生活においてもコミュニケーションは言語を問わず欠かせないものであり、そのスキルが豊かであればあるほど自己充足度はあがるにちがいないという理念の下、それをラジオ番組の企画、制作、実演を通して身に着けようというのが



この取り組みの目的である。加えて、発信を通しての地域とつながったり、学生自身が発信や表現活動そのものを楽しんだりすることもまた重要な目的であることは言うまでもない。

本学部教授のFM ラジオ番組「カリブ文学者山本伸のマンデーナイトグループ」(CTY-FM/毎週月曜夜7時~8時の生放送)をプラットフォームに、そのコーナー企画として1ヶ月に2回放送中。毎回テーマを設けて、大学生目線で2人のパーソナリティが自由に対話し、それをより濃密に編集、バックに音楽をかぶせてひとつのコーナー作品として仕上げています。授業やゼミの話から免許合宿、アルバイト、旅行、そしてバレンタインデーのエピソードに至るまで、大学生の日常的諸相が軽快なBGMにのせてテンポよく語られるこのコーナーは、番組担当ディレクターおよびスタッフはもとよりリスナーにも上々の評判となっている。

毎週月曜日 19:00~19:59

カリブ文学者山本伸のMonday Nite Groove!

パーソナリティ：山本 伸(東海学園大学経営学部教授・カリブ文学者)

東海学園大学経営学部教授で、カリブ文学者、比較文化学者として国内外で活躍中の山本伸氏をナビゲーターに、国内外の旅、トレンド、ポップカルチャーなどについて知的かつ面白おかしく迫る番組。地域の情動的、感覚的交流空間としても期待!

番組では皆さんからのメールを大募集中!!

番組冒頭でメールテーマを発表しますのでどんどん番組に参加してください!



2. 担当部局

経営学部経営学科 教授 山本 伸

経営学部経営学科 旧山本ゼミ3年生および山本ゼミ2年生

(東海学園大学放送研究会〈TBS〉会員総勢5~10名)

CTY-FM(四日市市)

提供 東海学園大学

3. 所見・成果



2022年4月25日放送分で「ゆるゆるたいむ♪」は8本目となった。自己紹介から始まった約7分のコーナートークは、占いや授業、アルバイトやバレンタイン、ひいてはペットやお化粧の話までとどまるところを知らないが、回を経るごとに声のトーンや間合い、掛け合いなどは目に見えて洗練されてきている。やはり「聴かれている」と

いう意識が自分の発話を客観的に予測し、「聴かれない」方向へと意識的あるいは無意識的に変換させているのではないかと思われる。その意味では、当初の目的のひとつでもあるコミュニケーション力を高めるという目的はすでに果たされつつあると言えるだろう。

今後はこの効果を後輩たちにも経験してもらおうべく、さまざまな組み合わせの新しいペアを複数立ち上げ、「〇〇たいむ♪」としてそれぞれのペアの性格に合わせた番組名を企画するつもりである。なお、そのベースとなるサークルはすでに立ち上げられており、今後はみよしキャンパスを中心に広く会員を募集することでより活性化をはかる予定である。サークル名は名古屋キャンパスの放送サークル（TBC）と区別してTBS（Tokaigakuen University Broadcasting Society）としたが、もし可能であれば二つのサークルの交流も図れればと期待している。

ことさら若年層における昨今の音声メディア離れは著しい。これはSNSの多様化、多層化が主な原因であるが、逆にradikoに代表されるようなラジオアプリも多数出ていることから、時空間をまたいだラジオ聴取が可能となったこともまた事実である。音声メディアには映像メディアにはない「想像（創造）する力」を構築する潜在力がある。学生企画・出演による番組制作という取り組みを通して、これらの潜在力を味わうことができるリスナーを一人でも多く開拓できることを期待したい。

なお、番組は以下の無料アプリによって聴取することができる。



CTY-FM76.8MHz 公式アプリ

CTY-FMは、災害時には防災ラジオとして緊急情報や生活に必要な情報などを随時放送。

ダウンロード
無料



▲ダウンロードはこちらから



AppStore、Playストアより「FMプラプラ」アプリをダウンロード

放送局一覧より「東海」の「CTY-FM」を選択してください。選択は初回のみでOK!

※ダウンロードには通信費がかかります。



みよし市 SDGs 推進プロジェクト

1. 目的・概要

2021年度、経営学部岡村ゼミは、みよし市との包括連携協定に基づき、みよし市企画政策課と協働で「みよし市 SDGs 推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、地域における SDGs の普及・啓発に取り組みました。このプロジェクトチームは、市と本学が連携することを通じて SDGs を効果的に推進していく目的で設置されたものであり、みよし市若手職員 9 名と岡村ゼミの学生 9 名で構成されています。

2021年度のプロジェクトチームの具体的な活動として、3 グループに分かれて「市民に向けた SDGs 発信事業」の企画・検討を行い、各グループが考案した事業を「みよし市 SDGs 推進本部会議」（2022年3月22日開催）で副市長や教育長、各部長に提案しました。2022年度には、各グループが提案した事業を、プロジェクトチームで協力して実践していきます。

本プロジェクトチームの活動は、参加した学生にとって、実際に自治体の公共サービスの企画に従事する貴重な経験となり、このような経験を通して、実践的な事業立案能力を習得することが期待されます。

2. 担当部局

経営学部経営学科 助教 岡村 誠
経営学部経営学科 岡村ゼミ（9名）
みよし市企画政策課

3. 所見・成果

（1）2021年11月24日：企画会議

みよし市の SDGs に関する取組状況や課題について、市職員と学生が認識を共有した上で、3 グループに分かれて市民への SDGs 普及・啓発に向けた事業のアイデアを出し合いました。はじめは緊張していた学生達でしたが、市職員が適切にリードしてくれたことで、積極的にアイデアを述べたり、活発に意見交換をしたりすることができました。

（2）2021年12月22日：ワークショップ

みよし市立三好中学校の森山智香子氏を講師にお招きして、カードゲーム「2030SDGs」を用いた研修を行うことで、プロジェクトチームで SDGs の理念や考え方についての理解を深めました。また、学生と市職員がゲーム感覚で楽しみながら SDGs を学ぶ中で、活発なコミュニケーションが生まれ、その結果、学生と市職員との親交が深まりました。



(3) 2022年2月7日～10日：企画事業の中間発表

当初、2月2日に、各グループによる企画内容の中間発表会が対面で行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、やむを得ず会議形式での中間発表は中止することになりました。その代わりに、各グループが作成・オンライン配信した企画プレゼンテーション動画を、プロジェクトチームのメンバー全員が個々に視聴した上で、相互に改善点を指摘しあうことで企画内容をブラッシュアップしました。

(4) 2022年3月22日：「みよし市 SDGs 推進本部会議」での企画事業の発表

2021年度プロジェクトチームの集大成として、「みよし市 SDGs 推進本部会議」で、各グループが考案した事業を副市長や教育長、各部長に提案しました。Aグループは「カードゲームを用いた小学校への出前授業」、Bグループは「SDGs マルシェ」、Cグループは「SDGs 作品コンテスト」をそれぞれ提案し、会議参加者による審査の結果、僅差でCグループの企画が優秀提案に選ばれました。当初、優秀提案事業のみを採用・実施する予定でしたが、いずれの企画も素晴らしかったため、Cグループの企画をベースに、AグループとBグループの企画の要素を取り入れることで、最終的に洗練された事業が完成しました。2022年度には、プロジェクトチームが協力して事業を実践していきます。



副市長の挨拶



Aグループの発表の様子



Bグループの発表の様子



Cグループの発表の様子

プロジェクトに参加した学生たちは、取組みを通じて地域貢献活動のやりがいやSDGsの重要性を実感することができました。さらに、現役の公務員（市職員）のリーダーシップやプレゼンテーションスキルなどを間近でみたり、あるいは指導を受けたりすることによって、社会で活躍するためのノウハウを身に付けると同時に、公務員の仕事やその魅力についても学ぶことができました。

「HUG（避難所運営ゲーム）」ファシリテーター

1. 目的・概要

「HUG」とは「避難所運営ゲーム」の略称で、防災意識を高め、災害発生時に避難所運営のスタッフとして貢献できることを目指して作成された、避難所運営シュミレーションゲームである。避難所となる小学校の敷地全体・体育館内部・校舎内部の俯瞰図が印刷された紙を卓上に広げ、ファシリテーター（司会）が、次々と訪れる避難者やアクシデントのカードを読み上げていく。1 グループ 6 名ほどのプレイヤーは、読み上げられた避難者の事情を考慮しつつ、学校内の適切場な場所にそのカードを配置したり、アクシデントの対応方法を話し合ったりする。このゲームを通じて、避難所生活の不自由さや、不測の事態に対応しなければならない避難所ボランティアの緊迫感、災害時に協力することの必要性などを模擬体験できる。

天白区は防災教育の一環として、2019 年度からの 3 年間で、区内中学校全てでの「HUG」の実施を計画しており、本学学生にゲームを取り仕切るファシリテーターとしての参加が依頼された。

2019 年に引き続き（2020 年度はコロナにより休止）、2021 年 3 月 7 日に 3 年生 5 名の学生が平針中学校での「HUG」体験会に参加した。

2. 担当部局

教員 齋藤蒙光東海学園大学人文学部准教授

学生 人文学部の 3 年生 5 名

天白区役所区政部

3. 所見・成果

1) 学内での「HUG」体験会

「HUG」は防災意識を高めると共に、学生同士の交流を促す効果も見込めるため、人文学部では 2019 年度より積極的に取り入れている。今年度は 11 月 17 日に全 1 年生 110 名ほどを対象として、「HUG」体験会を行った。本来であればプレイヤー 1 グループ毎にファシリテーターが付くが、今年度はコロナ予防のために、マイクとスピーカーを使用して、ボランティア参加学生 5 名が交互にカードを読み上げた。1 年生は盛り上がりながら真剣にゲームに取り組み、防災意識が高まった様子であった。

2) 天白区役所との打ち合わせ

天白区役所より、今年度の中学校での「HUG」体験会は、コロナ感染予防のために従来のカードゲームではなく、パソコン上で「HUG」を体験するアプリを使用するという通達があった。ファシリテーターが中学校の放送室から全校に向けて、アプリの操作方法を説明しながらゲーム運営をし、中学生たちは 1 名ずつパソコン上のアプリを操作するという。今回は学生にファシリテーターの役割を一任するのは難しいという話になり、ボランティア内容を変更せざるを得なくなった。学生も交えて区役所担当職員と打ち合わせを行った結果、ファシリテーターは区役所職員が担当し、避難所における混雑・大量の救援物資の扱い・マスク対応・トイレの使用禁止・病人の応対などに関するカードが読み上げられる際に、学生たちがあらかじめ調べてきたことをコメントすることとなった。

3) 平針中学校での「HUG」体験会

予定通り、3 月 7 日の「HUG」体験会に参加した。学生たちは担当カードの順番が来ると、放送室に入ってコメントを読み上げ、その音声全校に放送された。今年度はファシリテーターを務めることはできなかったが、カードをただ読み上げて終るのではなく、各自が前もって災害について調べ、コメント原稿をまとめたという点では、より積極的な関わり方が出来たと思われる。

コメントを読み上げる以外の時間は、学生それぞれに校内を回り、中学生たちが「HUG」アプリに取り組む様子を見て回った。コロナ感染予防のため、中学生と直接的に交流することは控えざるを得なかったが、そのような状況下でもボランティアを行えたという点では、大きな意義があったと思われる。

学生が作成したコメント原稿の一例：災害時のトイレ使用について

災害時には、断水や停電、また排水設備や処理施設の損傷などによって、水洗トイレの水を流すことができなくなる場合があります。それを知らずに使用してしまうと、汚物が溜まって大変なことになるため、災害時にはトイレを使用禁止にすることが重要です。そのことを知識として、あらかじめみんなが覚えておくことも、とても重要です。

災害時でも使用可能なトイレとして、携帯トイレ・簡易トイレ・ポータブルトイレなどがあります。携帯トイレは持ち運びが可能なサイズで、車が渋滞したときや登山をするときなどにも使われます。最近では100円ショップで売っているものもあり、手元に置いておきやすい防災グッズです。簡易トイレは組み立て式で、普段のように座って用を足すことができます。ポータブルトイレは介護などによく使われるもので、見た目は普通の洋式のトイレとあまり変わりません。中身の袋を取り替えることでまた使えるようになります。



天白図書館テーマソングの振り付け創作の取り組み

1. 天白図書館テーマソングの編曲・振り付けの制作と提供

2020年度の初めに、名古屋市は天白区立天白図書館より、既存の天白図書館テーマソング(旋律のみ)を児教育施設や小学校で幼児・児童が先生と一緒に歌えるような簡易ピアノ伴奏版に編曲し楽譜を作成してほしいという依頼を受けた。依頼を受けた時は秋に開催される天白区の区民まつりの場で教員と学生による演奏披露を行いたいということだったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により実現できなかった。

最初に、依頼を受けた音楽科教員(筆者:横山真理)がピアノ簡易伴奏版の編曲を行って楽譜を作成した。そして、その楽譜に基づくデモ演奏に合わせて振り付けをつけて歌うことができるように、保育専攻学生が振り付けを考えた。さらに、学生が制作した振り付けにイラストをつけて改めて楽譜化した。そのようにして完成させた楽譜とピアノ伴奏音源 CD、振り付けのサンプル動画記録を天白図書館に提供した。提供した楽譜や演奏音源 CD については、次年度に天白区内の保育園や小学校に配布したいということだった(協定書・委託金は無)。

2. 保育専攻基礎演習 I 横山真理ゼミ

横山真理がピアノ伴奏の編曲、編曲版の楽譜の作成、デモ演奏の音源の作成を行った。2020年春学期に横山が担当していた保育専攻基礎演習 I のゼミ所属の学生 7 名に対して、天白図書館テーマソングの歌に振付を創作して踊りながら歌えるようにするという課題を提示し、グループでの創作活動に取り組ませた。完成した振り付けを録画し、サンプル動画を作成した。

3. 所見・成果 (MS ゴシック 12 ポイント)

天白区図書館は、親子だけでなく幼児教育施設も頻繁に利用する施設であり、子育て支援の拠点にもなっている。「天白図書館テーマソング」という音楽作品を編曲したりそれに振り付けをつけたりすることを通して、その天白図書館をより身近に感じて気軽に利用していただけるきっかけを提供することができるのではないかと考えた。それ自体は、一教員が単独で遂行することもできたのだが、子育て支援の拠点であり乳幼児にとっての心の栄養の宝庫である天白図書館の存在を保育学生が身近に感じ利用してほしい、そのような願いをもった。そこで、基礎演習 I の横山ゼミ所属の学生 7 人を 2 グループに分け、ゼミ活動として、それぞれのグループで「天白図書館テーマソングに幼児が楽しめる簡単な振り付けを創作する」という課題に取り組ませた。それぞれのグループでは、どのような振り付けにすれば幼児がすぐに覚えることができふりをつけながら歌って楽しむことができるか話し合いながら、学生自身が主体的に振り付けを創作していった。そのようにして完成した振り付けは、下記の楽譜のイラスト(参考資料)に示されている。振り付けのパーツの一つ一つには、7 人すべての学生の意見が盛り込まれたものになっている。

今回、コロナ対策のため区民まつりなどの場で学生自身が成果を披露する機会に恵まれなかったのは残念だったが、次の点で学生自身の学修に成果があったのではないかと考えている。それは、保育学生が大学授業で得た知識や技能を活用しながら「振り付けの創作」という実践的な課題に挑戦することができた点である。保育者養成課程カリキュラムでは、学生は理論的な学修や実践上必要となる知識・技能の修得のための学修に取り組んでいるが、どうしても講義教室内での学修に留まってしまう傾向がある。今回、上に説明したような社会的に要請された課題に取り組むことを通して、大学授業で得てきた知識・技能を活用し課題解決に取り組み成果を生み出す学修の道筋を経験させることができたのではないかと考えている。

♪天白図書館テーマソング♪
 振り付け: 茨城学芸大学教育学部教育学科保育専攻学生有志
 イラスト: 横山 麗
 編集: 横山 真理

てんばく— バクバク— きつといいこと ありますよ





「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「ばくばく」手をバクッと二回、ばくばくさせる。



「きつ」指を立てて下から上へふりあげて。「いいこと」指を立てたまま、ぎゅっと決めポーズ。



「ありますよ」指を立てたまま、1,2,3と拍に合わせてリズムをとる。

てんばく— バクバク— てんばくとしよ—か— ーん





「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「ばくばく」手をバクッと二回、ばくばくさせる。



「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「としよ」手をパチンと合わせる。「かん」本を広げるように、合わせた手を広げる。

♪天白図書館テーマソング♪

1. えがおのひとみが— つながるよ—





「えがおのひとみが」ほっぺに指をあて、リズムに合わせて顔を左右に傾ける。



「つながるよ」リングがつながっているように、両手の指で輪を作る。

えほんの パレード— としよかん だいすき—





「えほんの」本を広げるように、合わせた手を広げる。



「パレード」両手を右下の端から持ち上げるように左上の端へ移動させる。



「としよかん」右手を目の前にかざして上にあげる。「だいすき」左手を目の前にかざして上にあげる。



「——」1,2,3と声を伸ばしている間、拍に合わせてハート形を作った両手を動かす。

♪天白図書館テーマソング♪

すてきな ごちそう— いっぱい あるある—





「すてきな」包丁で切るような仕草で。



「ごちそう」ご馳走をどうぞ! という感じで、両手を中央から両側に広げる。



「いっぱい」両手を上から輪を描くように下に下す。



「あるある」指を立てたまま、1,2,3と拍に合わせてリズムをとる。

よ—ん—で ウッフフ— パワー—がわいてく—る—





「よ—ん—」本を広げるように、合わせた手を広げる。



「ウッフフ」クスクス笑うように、両手を軽く靡って顔の前で軽く動かす。



「パワー」かごぶを作る感じで、右手で拳を作って下から上にあげる。「わいてく」上にあげた拳で3拍目でグッと決めポーズ。



「る——」右手はそのままの状態、左手で拳を作って下から上にあげる。3拍目でグッと決めポーズ。

♪天白図書館テーマソング♪

てんばく— バクバク— きつといいこと ありますよ





「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「ばくばく」手をバクッと二回、ばくばくさせる。



「きつ」指を立てて下から上へふりあげて。「いいこと」指を立てたまま、ぎゅっと決めポーズ。



「ありますよ」指を立てたまま、1,2,3と拍に合わせてリズムをとる。

てんばく— バクバク— てんばくとしよ—か— ーん





「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「ばくばく」手をバクッと二回、ばくばくさせる。



「てん」手をパチンと合わせる。「ばく」手をバクッと一回。



「としよ」手をパチンと合わせる。「かん」本を広げるように、合わせた手を広げる。

【 経営学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
1	ららぽーと愛知東郷でのイベントの企画・実施	キャップアート製作を通して、SDGsが誰でも取り組めるものであることを理解してもらいイベントを企画した。デザイン画は制作できたが、展示はコロナ禍のため延期された。	2020.5～	ららぽーと愛知東郷	(6)	共催
2	ららぽーと愛知東郷でのイベントの企画・実施	三井不動産より、プロジェクトの趣旨説明を受け、ららぽーと愛知東郷でのイベントを企画した。プレゼンの結果、「寄付して芸術アートを作り上げよう」という案が採用された。	2020.6.3 2020.7.8	三好キャンパス	24 (17)	共催
3	「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」(愛知県)への学生派遣	愛知県が主催するプロジェクトである「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」へ学生を派遣した。県が連携する企業・団体から提示された環境課題に対して、学生が調査を行い、成果発表会において提案を行った。	2020.6～12	愛知県庁他	(4)	派遣
4	JAあいち豊田の特産物で新商品開発	JAあいち豊田より同管内で生産されている農産物やこれまでに開発した商品の説明を受け、新商品の案を検討した。検討した案のプレゼンは行ったが、コロナの影響でその後の展開はストップしている。	2020.7.16	三好キャンパス	23 (16)	共催
5	※コロナ禍により中止 遠隔エコマッセージポスター教室の企画・実施	市民団体・社会福祉協議会との連携により、小学生を対象とした遠隔エコマッセージポスター教室の実施。	2020.9.16	カリヨンハウス		共催
6	「みよし市学校用SDGs学習動画」の作成ならびにみよし市教育委員会への贈呈	コロナ禍においても可能な地域連携活動として、丸山ゼミ2年生、3年生の有志11名が、脚本・演出・出演したSDGs学習動画を作成した。小学生などでもわかりやすく、親しめるようにクイズやユーモアなども交えて楽しく学習できる動画になっている。加えて、3月に、みよし市教育長に贈呈式を実施した。	2020.10～2021.3	みよし市教育委員会	(11)	主催
7	スポーツ指導動画の配信	ゼミの学生の発案で、スポーツの指導(テクニック・練習法紹介等)動画を作成し、Youtubeで配信した。 [参考(2021年4月14日現在)] チャンネル名: 東海学園大学経営学部スポーツマネジメントゼミ 投稿動画数: 9本(サッカー7本、野球2本) 延べ視聴回数: 55,512回 チャンネル登録者数: 362 URL: https://www.youtube.com/channel/UC_bNyYxsy9B2X4u5HKRmS7g	2020.11～	三好キャンパス第一グラウンド他	(6)	無
8	【三井不動産・読売広告社との社会連携事業に関する覚書】 ららぽーと愛知東郷でのイベント実施	SDGsの啓蒙を目的としたサステナブル・アート・プロジェクトを実施した。具体的には、三好丘中学校と共同でペットボトルキャップアートを制作し、本学等のSDGsに関する取り組みをまとめたポスターとともに、ららぽーと愛知東郷に展示した。イベント終了後は、ペットボトルキャップをリサイクル素材として売却し、その収益を世界の子どものワクチン接種促進のために寄付した。	2021.4～2021.6	ららぽーと愛知東郷	(6)	共催

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
9	学生ラジオ番組「ゆるゆるたいむ♪」の企画・制作	FMラジオ番組「カリブ文学者山本伸のマンデーナイトグループ」(CTY-FM/毎週月曜夜7時~8時の生放送)のコーナー企画として1ヶ月に2回放送。毎回テーマを設け、大学生目線で2人のパーソナリティが自由に対話し、それをより濃密に編集、バックに音楽をかぶせてひとつのコーナー作品として仕上げる。	2021.4~2022.3	山本伸研究室特設スタジオ	(5)	共催
10	「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」(愛知県)への参加	愛知県が主催するプロジェクトである「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」にゼミナール単位で参加した。県が連携する企業・団体から提示された環境 이슈に対して、学生が調査を行い、成果発表会において提案を行った。	2021.6~2021.12	愛知県庁ほか	(7)	派遣
11	【みよし市との包括協定】 甘みよし「柿ゼリー」のパッケージデザイン	みよし市の柿を有効利用するために開発された柿ゼリーは、2020年から学校給食で提供されていたが、一般販売に向けてパッケージのデザインを行った。関係者にプレゼントを行い、採用されたデザインの商品が2月22日から販売された。	2021.6~2022.2	東海学園大学 (販売) JAグリーンセンター 三好など	(14)	共催
12	SDGs普及・啓発ワークショップ(エコバッグづくり)	みよし市企画政策課と連携して、「みよし安全安心大作戦2021(みよし市主催)」において、SDGsの普及・啓発を目的としたワークショップ(オリジナルエコバッグづくり)を開催した。	2021.10.30	イオン三好アイモール	(10)	共催
13	【みよし市との包括協定】 みよし市SDGs推進プロジェクト	みよし市との包括連携協定に基づき、経営学部学生と市職員で構成される「みよし市SDGs推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、市民へのSDGs普及啓発を目的とした事業の企画・検討を行った。	2021.11~2022.3	みよし市役所	(9)	共催
14	【大垣市との交流に関する覚書】 大垣市上石津町イベントへのボランティア参加 & PRイベント企画・実施のための情報収集	上石津歴史探訪日帰りバスツアーにボランティアスタッフとして参加し、現地の観光資源を自身の目で確認するとともに、ツアー参加者や地元の方々とのコミュニケーションをとりながら、PRイベントを企画するための情報収集を行った。	2021.12.5	大垣市上石津地域	50 (14)	共催
15	高齢者施設における利用者との交流活動	高齢者施設に訪問し、交流活動として、利用者との対話や運動、レクリエーションなどを行った。認知症の利用者が多いことから、言葉をあげていくゲームを実践した。さらに、「さくら将棋」というゼミで研究している盤上ゲームを活用し、利用者との接点を設けた。	2021.12~2022.1	黒笹笑みりハビリティサービス	(24)	その他
16	知的障害者施設における利用者との交流活動	知的障害者施設において、利用者との交流を基軸とした活動を実施した。また、菓子づくりなどの作業所におけるプロジェクトを見学した。	2021.12~2022.1	知的障害者施設ハミングバード	(24)	その他
17	さんさんバス路線等再編啓発ワークショップ(エコバッグ・缶バッジづくり)	みよし市企画政策課と連携して、さんさんバス路線等再編についての市民への周知・PRを目的としたワークショップ(オリジナルエコバッグ・缶バッジづくり)を開催した。	2022.3.20	イオン三好アイモール	(6)	共催

【 人文学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
1	※コロナ禍により一部中止 【みよし市との包括協定】 コミュニティFM 「みよしコミュニティニュース」	エフエムとよたの番組「モミアゲラジオ」(毎週土曜日午後3:00～6:00放送)内で「みよしコミュニティニュース」(放送時間午後3:50～4:00)のコーナーを武市ゼミの3.4年生が担当。学生が市内イベントをインタビュー取材し、レポーターとして地域情報を発信する。2013年11月末より。(2013年11月29日・2016年4月11日付新聞記事、広報みよし2019年12月号特集記事あり)2020年度は新型コロナウイルスの影響で活動を休止していたが10月31日より再開した。取材の縮小・オンエアのみの参加など感染状況をふまえた活動を行った。	2020.4～3 毎週土曜日 中止:4～9月	みよし市カリヨンハウス	(22)	共催
2	※コロナ禍により一部中止 【みよし市との包括協定】 コミュニティFM 「みよしコミュニティニュース」	エフエムとよたの番組「モミアゲラジオ」(毎週土曜日午後3:00～6:00放送)内で「みよしコミュニティニュース」(放送時間午後3:50～4:00)のコーナーを武市ゼミの3.4年生が担当。学生が市内イベントをインタビュー取材し、レポーターとして地域情報を発信した。2013年11月末より。(2013年11月29日・2016年4月11日付「中日新聞」掲載。「広報みよし」2019年12月号掲載。)2021年度5月中旬～6月、9月は新型コロナウイルス感染拡大のため活動を休止した。	2021.4～3 毎週土曜日 中止:5～6、9月	みよし市カリヨンハウス	(20)	共催
3	【天白区との包括協定】 HUG(避難所運営ゲーム)のファシリテーター	避難所運営シュミレーションゲームHUGは、防災意識を高め、災害発生時に避難所運営のスタッフとして貢献できることを目指すものである。天白区は防災教育の一環として、2019年度からの3年間で区内全中学校での実施を計画しており、本学学生にファシリテーターとしての参加が依頼された。 2021年度は、3年生5名が平針中学校での実施に参加した。コロナのため、本来のカードゲームではなく、パソコン上のアプリを使って実施された。学生は災害の問題点について調べたことを放送室から全校に向けて発表した。	①2021.11.17 体験会 ②2022.1.13 天白区役所打ち合わせ ③2022.3.7	①名古屋キャンパス ②地域連携室 ③平針中学校	① (118) ②③ (5)	① 主催 ②③ 協力

【 教育学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
1	天白図書館テーマソングの編曲・振付創作 吹奏楽部によるアレンジと演奏	天白図書館館長の依頼を受けて、天白図書館テーマソングを幼児教育施設や小学校で幼児・児童が先生と一緒に歌えるように簡易ピアノ伴奏版に編曲し楽譜を作成した。(編曲・楽譜作成者:横山真理)。同時に、保育専攻基礎演習Ⅰ横山ゼミ学生に対して、天白図書館テーマソングの歌に振付を創作して踊りながら歌えるようにするという課題を提示し、グループで創作した振付のデモを録画した。	2020.5~7	横山研究室・リトミック室	(7)	協力
		2020年度 天白図書館の依頼により、天白図書館テーマソング(なかむらまさみ作詞・作曲)のピアノ演奏用編曲を行い音源CD及びピアノ演奏用の編曲楽譜を提供した。その楽譜をもとに、顧問として関わっている吹奏楽サークルに呼びかけ、天白図書館テーマソングを吹奏楽アンサンブルとしてアレンジして演奏できるようにし、当該サークルにクリスマスコンサートで演奏を披露した。横山も演奏者として参加した。	2020.12.22	名古屋キャンパス 311教室	(8)	協力
2	「大学生のお兄さんお姉さんといっしょに遊ぼう」	名古屋市地域子育て支援拠点くれよんひろばが主催するZOOMを用いた子育て支援会に保育実践のゲストとして参加した。教員によるミニ講話後の約25分間のコーナーを担当し、手作りの保育教材を用いながら、手遊びや歌を実演したり、ピアノやウクレレの演奏に合わせてふれあい遊びやダンスを実践した。	2021.1.19	オンライン	(6)	協力
3	ESD・SDGs活動成果発表会	ユネスコスクールの活動成果発表会の運営補助	2021.3.13	名古屋キャンパス	(8)	ボランティア
4	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2021 (名古屋ウィメンズマラソン)	名古屋ウィメンズマラソン、名古屋シティマラソン総勢8,000人の医療救護におけるメディカルサポートを実施した。各救護所の受付、気象調査、ロジや情報の記録など救護所が円滑に活動でき様な補助を実施、CSS(コールドスプレーステーション)の運営、医療統括本部での、救命事案発生場所特定作業、救護所統括記録、感染症対策部の各種記録、などを実施した。コロナ禍のため、感染予防対策を万全にして実施した。石田ゼミ3年生は事前準備から参加した。	2021.3.14 事前準備:2021.3.10・12・13 説明会補助	名古屋ドーム、白川公園、マラソンコース沿道	ランナー約8千人 来場者1万人 (164)	ボランティア
5	愛知淑徳中学・高等学校定期健康診断 ボランティア	歯科検診は歯式の記載、 内科検診は生徒たちの誘導である。	2021.4.16	愛知淑徳中学・高等学校	17	ボランティア
6	乳幼児のおはなし会	教員の子育て支援クラブに学生が参加し、0~3歳未満児とその親を対象に、30分のおはなし会を1日に2回開催した。絵本、紙芝居をはじめ、さまざまな歌、遊びを十分に楽しめるようさまざまな小道具、楽器演奏を実施した。会後は、教員への保護者からの相談等を見学した。	2021.8.26	天白図書館	12組 (1)	子育て支援

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数) (学生数)	種別
7	【名古屋市教育委員会委託事業】 名古屋土曜学習プログラム 「造形表現体験実習」	自然素材である「枝」に、様々なひもを巻きつけ立体作品を制作した。身の回りにある何気ない素材が、造形活動を通し、アートという表現に生まれかわることを体験した。	2021.10.16	名古屋市立八事小学校	38(6)	委託
8	間伐材を使った親子モノづくりワークショップ	トヨタ産業技術記念館が実施している週末ワークショップの一環として、親子で間伐材を活用したおもちゃづくりを企画実施し、森林保全などについて考える。	2021.10.23	トヨタ産業記述記念館	80(4)	主催
9	とよたマラソン2021	豊田マラソン大会当日の救護活動 AEDを背負って自転車で巡回するAED隊と、救護所、医療本部での救護活動の補助と入力をする。	2021.12.12	とよたスタジアムとマラソンコース沿道	(20)	ボランティア
10	「Zoomをたのしもう」での保育実技等の体験	名古屋市地域子育て支援拠点くれよんひろば・くれよんはーくが運営するZOOMを用いた子育て支援活動に参加し、学生が作成した保育教材を用い30分間の保育実技を実施した。各学生が実践担当、Zoom撮影担当を役割分担し、0～3歳児とその親子とのふれあいを経験した。なお、学生側は大学内プレイルームにて実践を行った。	①2022.1.14 ②2022.1.18	オンライン教室	①② 10組程度 (9)	子育て支援
11	「ちびっこ広場」でのお楽しみ会の実施	教員の子育て支援クラブに学生が参加し、未就園児とその保護者向けのお楽しみ会を実施した。1月20日の保育専攻4年生はこれまでの4年間の学びのなかで身につけた得意な保育遊び(楽器演奏、歌遊び、ダンス、シアター遊び)などを行った。3月24日の2年生は、4年生の活動動画を参照し、自分がやってみたいと思う保育の遊びに挑戦した。	①2022.1.20 ②2022.3.24	中村児童館	①13組 ②2組 (①②6)	子育て支援
12	2021年度岐阜県関市国際交流協会事業 関市在住の日本語を母語としない中学生のための教科学習支援教室「わかさ教室」における、学生ボランティアを組織した学習支援活動	2021年度は年間32回または64回(1人の生徒あたりの回数)のオンライン教室を計画し、関市在住の日本語を母語としない中学生の希望者11人に対して、週1回または2回、各回につき1時間程度のオンラインによる教科学習支援を行なった。日本語初期指導が必要な生徒もいれば、受験学力をつける必要がある生徒もいるなど生徒の学習ニーズが多様であることから、1人の生徒に対して複数の支援者が関わる必要がある。そこで、主たるサポーター(教育職経験のある大人)の補助者として学生を配置することから始めた。学生自身が生徒との人間関係をつくることができ学習支援に慣れてきた時点で、学生1人に任せた学習支援に切り替えた。学生の希望日時や学習支援の具体に関する不安なども十分考慮し、横山真理が本学コーディネーターとしての役割をもってボランティア学生をまとめた。本学からは、教育学部学校教育専攻3年16人、保育専攻3年1人が参加した。他大学からのボランティア学生の参加もあった(東海学院大学3人・京都精華大学1人・愛知淑徳大学1人・愛知県立大学1人)。東海学院大学コーディネーターとして池田敦子教授、石井智也講師が関わった。関市国際交流協会の事業として位置付けられており、関市市民協働課の責任のもとでzoomの有料契約によるオンライン教室の開設が成立している。したがって、zoom利用に関する学生の費用負担はなかった。	1人の生徒に対して年間32回または64回(毎週月・火・水・金の夜に開催)	オンライン教室	17	協力

【 スポーツ健康科学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数) (学生数)	種別
1	※コロナ禍により中止 【みよし市との包括協定】 三好特別支援学校小学部体育授業支援 ダンス交流	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、活動計画初期段階で中止を決定した。	2020.4～			
2	黒笹保育園園児との運動遊び	黒笹保育園保護者の会から依頼を受け、年少児～年長児を対象に、スポーツ鬼ごっこを中心とした運動遊びを行った。ゼミ生が主体となってプログラムを企画・実施した。	①2020.10.6 ②2020.10.12	①本学ラグビー場 ②黒笹保育園園庭	①10 (9) ②9(8)	共催
3	※コロナ禍により中止 【みよし市との包括協定】 みよし市立中部小学校への学校支援ボランティア(マラソン大会運営補助)の派遣	マラソン大会の伴走・運営補助	2020.12.4	保田ヶ池遊歩道	(7)	協力
4	※コロナ禍により中止 【みよし市との包括協定】 みよし市立黒笹小学校への学校支援ボランティア(マラソン大会運営補助)派遣	マラソン大会の伴走・運営補助	2020.12.10	黒笹小学校および 黒笹グラウンド	(15)	協力
5	あいちトップアスリートアカデミー2019 アディショナルプログラム「身体能力向上プログラムⅡ」	「アディショナルプログラム」と改称して、COVID-19を理由に中断していた2019年度分のプログラムを実施した。プログラム内容は、リズムトレーニングとジャンプトレーニングを中心に実施した。ジャンプトレーニングは、開催場所で開催し、リズムトレーニングは、ZOOM機能を用いて、遠隔地から講師がリアルタイムで実技指導を配信した。感染症対策に限らず、海外から日本に居るコーチの指導を受けたり、またはその反対のケースも生じるため、ICTを利用した指導を経験させた。	2021.1.9	露橋スポーツセンター	0	提携
6	加子母小学校テーマソングへの振り付け・指導	岐阜県中津川市の中津川市立加子母小学校における「かしもんのテーマソング」への振り付けおよび小学生への振り付け指導を実施した。 本学4年生により振り付けの考案を行い、動画により加子母小学校へ共有した後、オンラインにより小学生に振り付け指導を行った。 小学生との交流の1～2週間前には、担当教員とのオンラインでの打ち合わせを実施した。	2021.2.16 2021.3.9	東海学園大学 加子母小学校 (オンライン交流)	(3)	協力
7	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2021」ボランティアスタッフ派遣	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2021」への学生ボランティアの派遣 業務内容: 出場選手のサポート、会場設営、運営補助	2021.3.14	ゴールエリア、妙音寺通り周辺	(12)	協力
8	【大桑村との委託契約】 大桑村健康運動教室	大桑村ご当地体操制作	2021.4.1～2022.3.31	長野県木曾郡大桑村体育館及び須原地区館	延67	委託
9	【名古屋市教育委員会委託事業】 名古屋土曜学習プログラム 「レクリエーションスポーツ体験学習」	小学1年生から6年生を対象に、ニュースポーツの体験学習を展開。ゼミ生が主体となって、プログラムを展開。	2021.6.12	名古屋市立平子小学校	38 (12)	委託

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数) (学生数)	種別
10	黒笹保育園園児との運動遊び	本学ラグビー場と黒笹保育園園庭にて、投動作の向上を目的とした運動遊びを学年別に学生が企画・実施するとともに、ソフトボール投げを中心とした体カテストを実施した。	2021.6.14、15、24	三好キャンパス 黒笹保育園	20	共催
11	第17回愛知県ティーボール大会 メディカルサポート	愛知県ティーボール大会において、本学学生がメディカルサポートスタッフとして参加し、試合中に発生するけがなどに対する応急処置の支援を行った。	2021.7.24	至学館大学野球場	3	協力
12	【研究室主催事業】 「みんなでつくろう！ニコニコスポーツ2021」	近隣小学校(黒笹用学校・三好丘小学校・北部小学校)の児童を対象とした、夏休み3日間のスポーツ・レクリエーションプログラム。3年生・4年生のゼミ学生が合同で、プログラム内容の企画や実際の指導・広報活動・渉外など、企画・運営・評価を自身の手で行う教育実践活動。	2021.8.13、14、15	みよし市立黒笹小学校	56(11)	主催
13	【名古屋市委託事業】 なごや健康カレッジ「健康学ノススメ2021」	学生参加型の中高齢者向け健康づくり教室 講師： 丸山裕司(スポーツ健康科学部准教授)、 梶岡多恵子(教育学部教授) 他	2021.9.30～2021.12.16 全12回	名古屋キャンパス	延 330 (66)	委託
14	【地域連携課】 名古屋健康運動倶楽部	中高齢者向け運動教室	2021.10～2022.3 毎週金曜 1部 9:10～10:10 2部 10:30～11:30 コロナ関連で休止 2021.4.1～10.1 2022.1.22～3.24	名古屋キャンパス	延483	主催
15	あいちトップアスリートアカデミー	愛知県内の小学校と中学生年代から選出された選手によって編成されたあいちトップアスリートアカデミー2022年度生を対象に身体能力向上プログラムを開催した。	2021.11.21	名東スポーツセンター	44(2)	協力
16	みよし市立南部小学校への学校支援ボランティア(マラソン大会運営補助)派遣	マラソン大会の伴走・運営補助	2021.12.9	南部小学校グラウンド	(5)	協力
17	【スポーツ健康科学部 企画イベント】 第1回「みんな集まれ!!かけっこ教室」	小学生を対象としたかけっこ教室、運動あそびや走り方の基本動作の指導 ・学部イベント予算で実施した。 ・運営は、本学部教員の他、陸上競技部所属の学生及び卒業生がサポートにあたった。	2021.12.11	三好キャンパス	45 (22)	主催
18	いわてスーパーキッズ発掘・育成事業 「U12(小学生)スペシャルスクール⑤」および「U15プログラム⑩・⑪」	岩手県内の小学生・中学生年代によって編成されている「いわてスーパーキッズ」を対象に指導をした。小学生年代には、身体能力開発を目的とし、中学生年代には体力向上を目的としたプログラムを実施した。	2022.1.9	岩手大学	40	協力
19	いわてスーパーキッズ発掘・育成事業 U15プログラム	岩手県内の中学生年代によって編成されている「いわてスーパーキッズU15」を対象に身体能力向上プログラム、主にスプリント能力向上を目的に指導をした。	2022.2.13	岩手県武道館	34	協力

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
20	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2022」ボランティアスタッフ派遣	「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン2022」への学生ボランティアの派遣 業務内容: 出場選手のサポート、会場設営、運営補助 事前研修会を実施し、当日の役割を確認する他、車いすやレーサーの扱い方、選手サポートの仕方、パラリンピックスポーツの歴史について学習している。	2022.3.13	ゴールエリア、妙音寺通り周辺	(18)	協力
21	【スポーツ健康科学部 企画イベント】 第2回「みんな集まれ!!かけこ教室」	小学生を対象としたかけこ教室、走投跳を含む複数の種目を体験する。 ・学部イベント予算で実施した。 ・運営・指導は陸上競技部所属の学生及び卒業生が中心となって行った。	2022.3.19	三好キャンパス	30 (24)	主催
22	あいちトップアスリートアカデミー	愛知県内の小学校と中学生年代から選出された選手によって編成されたあいちトップアスリートアカデミー2022年度生を対象に身体能力向上プログラムを開催した。	2022.3.20	三好キャンパス	42(3)	協力

【 健康栄養学部 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	参加人数 (学生数)	種別
1	※コロナ禍により中止 【健康栄養プラザ】 糖尿病予防のための食事のコツ	実習:ポリウム満点糖尿病食	2020.5.30	学内(4号館1階 調理実習室)		主催
2	※コロナ禍により中止 マックスバリュ東海(株)、中日本フード(株)とのコラボ開発弁当の販売	長幡ゼミがマックスバリュ東海(株)、中日本フード(株)と共同開発した健康弁当を、愛知、岐阜、三重、滋賀県のマックスバリュで3日間限定で販売する予定である。	2020.5~6 3日間	愛知、岐阜、三重、滋賀県のマックスバリュ		共催
3	※コロナ禍により中止 【健康栄養プラザ】 骨の健康について	実習:「骨太ピザ、水菜の白和え、黒糖きなこタピオカ」 ※骨密度測定	2020.6.13	学内(4号館1階 調理実習室)		主催
4	※コロナ禍により中止 名古屋市農業センターとの共催イベント 「ともいきのいえ」第1回~キュウリとオクラの畑見学と調理実習~	長幡ゼミが名古屋市農業センターと共催で実施する3回シリーズの地域の子ども向け食育教室である。第1回目はキュウリとオクラの畑見学と調理実習を行う予定である。みんなで一緒に作って食べることを通して「食」の楽しさを伝えることを目的とする。	2020.6.28	名古屋市農業センター		共催
5	※コロナ禍により中止 【健康栄養プラザ】 ヨガして、食べて、元気よく！からだが喜ぶ健康法	実習:カみなぎる、夏の味ごはん	2020.7.4	学内(4号館1階 調理実習室)		主催
6	※コロナ禍により中止 名古屋市農業センターとの共催イベント 「ともいきのいえ」第2回~ナスとピーマンの畑見学と調理実習~	長幡ゼミが名古屋市農業センターと共催で実施する3回シリーズの地域の子ども向け食育教室である。第2回目はナスとピーマンの畑見学と調理実習を行う予定である。みんなで一緒に作って食べることを通して「食」の楽しさを伝えることを目的とする。	2020.8.18	名古屋市農業センター		共催
7	【健康栄養プラザ】 食育講座「野菜好きな子どもにするために」	講話① 野菜の栄養と非常食 講師:玉川泰子(天白保健センター/管理栄養士) 講話② 野菜好きな子どもに。家庭でできる食育! 講師:中出美代(本学教授/管理栄養士) 東海学園大学『健康栄養プラザ』・天白保健センター共催	2020.11.1	名古屋キャンパス	30(4)	共催
8	マックスバリュ東海(株)とのコラボ開発弁当の販売	長幡ゼミがマックスバリュ東海(株)と共同開発した健康弁当「お得で満足バランス弁当」を、愛知、岐阜、三重、滋賀県のマックスバリュ89店舗で2日間限定で販売した。	2021.3.27~28	愛知、岐阜、三重、滋賀県のマックスバリュ	(3)	共催
9	マックスバリュ東海(株)とのコラボ開発弁当の販売	長幡ゼミがマックスバリュ東海(株)と共同開発した健康弁当「秋野菜のまぜまぜピビンバ丼」を、愛知、岐阜、三重、滋賀、静岡、神奈川、山梨県のマックスバリュ177店舗で2日間限定で販売した。	2021.11.20~21	愛知、岐阜、三重、滋賀県のマックスバリュ	(9)	共催

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(学生数) 参加人数	種別
10	【健康栄養プラザ】 ストレスケアのための食事	①講話「ストレスケアのための食事」 ②料理紹介「ストレスケアメニュー」	2021.4.17 ※動画撮影	名古屋キャンパス オンライン教室	9(9)	主催
11	【健康栄養プラザ】 糖尿病予防のための食事のコツ	①講話「糖尿病予防のための食事のコツ」 ②料理紹介「糖尿病予防メニュー」	2021.5.29 ※動画撮影	名古屋キャンパス オンライン教室	5(5)	主催
12	【健康栄養プラザ】 ヨガして、食べて、美腸健康法	①講話、調理紹介「美腸健康法について」	2021.6.12	名古屋キャンパス オンライン教室	2(2)	主催
13	【健康栄養プラザ】 ビタミンとミネラルについて～どうして必要なのか～	①講話「ビタミンとミネラルについて～どうして必要なのか～」 ②料理紹介「ビタミンとミネラルがしっかり摂れる料理」	2021.10.9	名古屋キャンパス オンライン教室	3(3)	主催
14	【健康栄養プラザ】 そば打ちを楽しむ	①季節ならではの「新そば」の風味を味わう	2021.11.27	名古屋キャンパス オンライン教室	4(4)	主催
15	【健康栄養プラザ】 認知症予防に役立つ生活スタイル	①講話「認知症予防に役立つ生活スタイル」 ②料理紹介「認知症予防の食事」	2021.12.11	名古屋キャンパス オンライン教室	7(7)	主催

【 地域連携課 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
1	※コロナ禍により一部中止 【天白区との包括協定】 子ども支援	名古屋市立原小学校トワイライトスクール	2020.4～3 放課後毎日実施 ※中止:5～9月	名古屋市立原小学 校	(延105)	協力
2	※コロナ禍により一部中止 【天白区との包括協定】 子ども支援	名古屋市天白区の原学区・平針南学区で学習環境困難 な小学生の学習サポート	2020.4～3 毎週土曜日 ※中止:4～6、8月	各コミュニティセン ター	(延62)	協力
3	※コロナ禍により中止 名古屋健康運動倶楽部	中高齢者向け運動教室	2020.4～3 毎週金曜日 1部 9:10～10:10 2部 10:30～11:30	名古屋キャンパス		主催
4	※コロナ禍により中止 大桑村「まめ習慣講座」健康教室	①肩こり・腰痛等の対策 ②ポールウォーキング ③指導者養成講座 ④バランス運動他 ⑤肩こり・腰痛等の対策	①2020.5.1 ②2020.6.22 ③2020.7.6 ④2020.7.13 ⑤2020.9.4	長野県木曾郡大桑 村体育館及び須原 地区館		共催
5	※コロナ禍により中止 【天白区との包括協定】 天白生涯学習センター連携講座、名古屋市 教育委員会キャンパス講座、 歌舞伎のたのしみ(2020春)	公開講座	2020.5～6 毎週水曜 10:40～12:10 全5回	名古屋 キャンパス		連携
6	※コロナ禍により中止 【公開講座】 江戸歌舞伎(2020春)	公開講座	2020.5～7 毎週水曜 18:30～20:00 全12回	長円寺会館		主催
7	【天白区との包括協定】 子ども支援	名古屋市立原小学校トワイライトスクール	2021.4～3 放課後毎日実施	名古屋市立原小学 校	(延83)	協力
8	【天白区との包括協定】 子ども支援	名古屋市天白区の原学区・平針南学区で学習環境困難 な小学生の学習サポート	2021.4～3 毎週土曜日	各コミュニティセン ター	(延266)	協力
9	【大桑村との委託契約】 大桑村健康運動教室	大桑村ご当地体操制作	2021.4.1～2022.3.31	長野県木曾郡大桑 村体育館及び須原 地区館	延67	委託

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
10	【名古屋市教育委員会委託事業】 名古屋土曜学習プログラム 「レクリエーションスポーツ体験学習」	小学1年生から6年生を対象に、ニュースポーツの体験学習を展開。ゼミ学生が主体となって、プログラムを展開。	2021.6.12	名古屋市立平子小学校	38 (12)	委託
11	【名古屋市委託事業】 なごや健康カレッジ「健康学ノススメ2021」	学生参加型の中高齢者向け健康づくり教室	2021.9.30～2021.12.16 全12回	名古屋キャンパス	延 330 (66)	委託
12	※コロナ禍により一部中止 名古屋健康運動倶楽部	中高齢者向け運動教室	2021.10～2022.3 毎週金曜 1部 9:10～10:10 2部 10:30～11:30 中止:4.1～10.1 1.22～3.24	名古屋キャンパス	延483	主催
13	【名古屋市教育委員会委託事業】 名古屋土曜学習プログラム 「造形表現体験実習」	自然素材である「枝」に、様々なひもを巻きつけ立体作品を制作した。身の回りにある何気ない素材が、造形活動を通し、アートという表現に生まれかわることを体験した。	2021.10.16	名古屋市立八事小学校	38(6)	委託

【 三好ともいきスポーツクラブ 】

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
1	※コロナ禍により中止 三好健康運動倶楽部	内容: 中高齢者向け運動教室 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週月曜 9:30~10:30	三好 キャンパス		主催
2	※コロナ禍により中止 グラウンドゴルフ倶楽部	内容: グラウンドゴルフ 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週火曜 9:00~10:00	三好 キャンパス		主催
3	※コロナ禍により中止 公園体操	内容: 三好丘桜公園での運動教室 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週水曜 9:00~10:00	三好丘桜公園		主催
4	※コロナ禍により中止 健康吹矢倶楽部	内容: 吹矢 講師: 木村綾子(日本スポーツウエルネス吹矢協会指導員)	2020.4~2021.3 毎月第1・3木曜 9:30~11:30	おかよし交流センター		主催
5	※コロナ禍により中止 ボールウォーキング倶楽部	内容: ボールウォーキング 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週金曜 9:00~10:00	三好 キャンパス		主催
6	※コロナ禍により中止 マシントレーニング倶楽部	内容: マシン使用のトレーニング 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週土曜 9:00~12:00	三好 キャンパス		主催
7	※コロナ禍により中止 ピンポン倶楽部	内容: 卓球 講師: 島岡清(健康開発支援センター長)	2020.4~2021.3 毎週土曜 9:30~12:00	三好 キャンパス		主催
8	※コロナ禍により中止 キッズダンスくらぶ	内容: 小学生向けダンス教室 講師: 田中望(スポーツ健康科学部講師) サポート学生有り	2020.4~2021.3 火曜 18:15~19:15	三好 キャンパス		主催
9	※コロナ禍により中止 ともいき体操くらぶ	内容: 小学生向け体操教室 講師: 岡本敦(スポーツ健康科学部教授) サポート学生有り	2020.4~2021.3 土曜 9:00~10:30	三好 キャンパス		主催
10	※コロナ禍により中止 グラウンドゴルフ倶楽部 (自主活動)	グラウンドゴルフ	2021.6~2022.3 毎週火曜	三好丘公園	延239	主催

	タイトル	内容	開催月日	開催場所	(参加人数 学生数)	種別
11	※コロナ禍により中止 公園体操(自主活動)	公園での運動教室	2021.6~2020.3 毎週火曜	三好丘桜公園	延536	主催
12	※コロナ禍により中止 ポールウォーキング倶楽部 (自主活動)	ポールウォーキング	2021.6~2020.3 毎週火曜	三好丘緑地	延495	主催

令和2～3年度地域連携支援プログラム報告書

発行：東海学園大学

発行年月：令和4年9月

名古屋キャンパス

住所：〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目 901 番地

TEL：(052)801-1201 FAX：(052)804-1044

三好キャンパス

住所：〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西ノ洞 21 番地 233

TEL：(0561)36-5555 FAX：(0561)36-6757

